

photometric studies of the interaction of S-adenosylhomocysteinase with adenosine, adenine and cordycepin. *Biochim. Biophys. Acta* 785 : 177—180, 1984.

2) Fujioka, M. : Chemical mechanism of saccharopine dehydrogenase (NAD⁺, L-lysine-forming) as deduced from initial rate pH study. *Arch. Biochem. Biophys.* 230 : 553—559, 1984.

3) Gomi, T., Ogawa, H., Fujioka, M. : Purification of messenger RNA coding for glycine methyltransferase from rat liver. *Biochem. Int.* 9 : 25—31, 1984.

4) Takata, Y., Fujioka, M. : 5'-p-[(Fluoro-sulfonyl) benzoyl] adenosine-mediated inactivation of S-adenosylhomocysteinase. *Biochemistry* 23 : 4357—4362, 1984.

5) Ogawa, H., Gomi, T., Horii, T., Ogawa, H., Fujioka, M. : Molecular cloning of cDNA for glycine methyltransferase. *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 124, 44—50, 1984.

◆ 総 説

1) 藤岡基二 : メチル基転移反応と S- アデノシルホモシステイナーゼ. *生化学* 56 : 1372—1379, 1984.

◆ 学会報告

1) 小川宏文, 五味知治, 藤岡基二 : ラット肝グリシンメチラーゼのクローニング. 第2回日本生化学会北陸支部大会, 1984, 5, 金沢.

2) 高田義美, 藤岡基二 : S- アデノシルホモシステイナーゼのアフィニティー試薬 5'-p-fluorosulfonylbenzoyl adenosine による失活. 第57回日本生化学会大会, 1984, 10, 東京.

3) 小川宏文, 五味知治, 藤岡基二 : グリシンメチル基転移酵素 mRNA の精製とクローニング. 第57回日本生化学会大会, 1984, 10, 東京.

4) 藤岡基二 : 酵母 saccharopine dehydrogenase の反応機構. 第57回日本生化学会大会, 1984, 10, 東京.

5) 五味知治, 藤岡基二 : S- Adenosylhomocysteinase の adenosine による失活. 第57回日本生化学会大会, 1984, 10, 東京.

病 理 学 (1)

教授 北川 正信
助教授 三輪 淳夫
助手 村井 嘉寛
助手 増田 信二

◆ 原 著

1) 田近栄司, 中村武夫, 岩佐嘉郎, 北川正信 : 精索結核症の1例. *臨泌* 38 : 77—79, 1984.

2) 秋山高儀, 黒田吉隆, 杉井 衛, 佐伯好信, 松葉 明, 小西一朗, 辻 政彦, 宮本 汎, 広瀬昭一郎, 北川正信 : 皮膚病変を伴わない胃・小腸 Kaposi 肉腫の1剖検例. *消化器外科* 7 : 238—242, 1984.

3) 北川正信 : 肺癌の組織分類と臨床病理分類. *臨床成人病* 14 : 323—328, 1984.

4) 渡辺洋宇, 佐藤日出夫, 飯田茂穂, 山田哲司, 麻柄達夫, 小林弘明, 綱村幸夫, 市橋 匠, 岩 喬, 鈴木正行, 高島 力, 利波紀久, 松原藤継, 北川正信 : 肺癌症例における T-, N- 因子の術前評価の正診率—開胸例についての術後評価との比較—. *肺癌* 24 : 165—174, 1984.

5) 久保 正, 若栗宣人, 宮本 汎, 吉崎 享 : 放射性ヨード摂取率低値を示す一過性甲状腺中毒症の臨床的検討. *日内会誌* 73 : 659—665, 1984.

6) 石崎武志, 宮保 進, 越野 健, 藤村政樹, 上田幹夫, 服部絢一, 佐藤日出夫, 林 守源, 河村洋一, 松原藤継, 北川正信 : Lymphoid interstitial pneumonia の1例. *日胸疾会誌* 22 : 401—406, 1984.

7) 田中良則, 中村泰久, 遠藤俊郎, 岡 伸夫, 三輪淳夫, 北川正信 : 頭蓋内進展を認めた眼窩内 Paraganglioma の1例. *日本眼科紀要* 35 : 946—950, 1984.

8) 村井嘉寛, 北川正信 : 北陸地区剖検肺における石綿小体の検出頻度. *肺癌* 24 : 239—247, 1984.

9) 成田亘啓, 三上理一郎, 伊藤新作, 堅田 均, 西川 潔, 米田尚弘, 春日宏友, 塩谷直久, 上野美智代, 中野 博, 宮崎隆治, 土肥和紘, 増原建二, 大野良隆, 今井俊介, 北川正信 : 石綿肺に合併した自己免疫疾患の3症例. *日胸* 43 : 495—502, 1984.

10) 渡辺洋宇, 小林弘明, 麻柄達夫, 佐藤日出夫, 岩 喬, 北川正信 : 術前評価 PMO の肺内転移巣を有した肺癌症例の検討. *臨床胸部外科* 4 : 448—454, 1984.

・11) 北川正信：老年者肺癌の病理学的特徴。Geriatric Medicine 22：990—994, 1984.

12) 石崎武志，宮保 進，岸田 繁，北中 勇，森永健市，越野 健，近藤邦夫，西岡真二，北尾武，大竹茂樹，藤村政樹，上田幹夫，服部絢一，北川正信：過敏性肺臓炎を合併し，経過中に肺結核症の再燃を認めた慢性関節リウマチの1例。日胸43：702—707, 1984.

13) 酒徳光明，渡辺洋字，大村健二，川浦幸光，岩 喬，北川正信，松原藤継：胸腺原発扁平上皮癌の一例。北陸外会誌 3：75—78, 1984.

14) 北川正信：びまん性汎細気管支炎。病理と臨床 2：1299—1306, 1984.

15) 飯田茂穂，渡辺洋字，綱村幸夫，麻柄達夫，岩 喬，北川正信，松原藤継：肺平滑筋腫の1例。臨床胸部外科 4：740—744, 1984.

16) 杉山英二，鈴木英彦，赤川直次，山下直宏，矢野三郎，飯田博行，北川正信：IgA腎症を合併した Behçet 病の1例。日内会誌 73：1818—1822, 1984.

17) 東口隆一，堅田 均，上野美智代，成田亘啓，三上理一郎，今井俊介，螺良義彦，北川正信：多発性空洞陰影を呈した乳頭型腺癌，細気管支肺胞型の一部検例。肺癌 24：743—748, 1984.

◆ 学会報告

1) Kitagawa, M. : Environmental exposures and lung cancer. U. S. —Japan Seminar on the role of pathologists in cancer epidemiology under U. S. —Japan Co-operative Cancer Research Program, 1984. 3, San Francisco.

2) 斎藤清二，渋谷 隆，若林泰文，南部修二，松井俊二郎，田中三千雄，井上恭一，佐々木 博，三輪淳夫，窪田芳樹：ハムスター実験肺癌可移植モデルに関する研究—第1報，同種移植系および細胞培養系の樹立—。第70回日本消化器病学会総会，1984. 3, 東京.

3) 南 真司，魚谷浩平，能海 勲，村本 潔，杉浦 仁，三輪淳夫：全身骨に多発性打ち抜き像を呈した malignant fibrous histiocytoma の1例。第17回骨・軟部腫瘍研究会，1984. 7, 新潟.

4) 三輪淳夫，北川正信：眼窩内 meningioma の2症例。日本病院病理医協会中部支部第13回標本交見会，1984. 7, 名古屋.

5) 北川正信，村井嘉寛，三輪淳夫：高齢者肺癌の病理学的特徴。第25回日本肺癌学会総会。1984. 10, 東京.

6) 小山信二，龍村俊樹，村上 新，津田基晴，

杉山茂樹，山本恵一，北川正信，三輪淳夫：肺葉切除半年後に対側肺に再発を認めた肺の pseudolymphoma の1例。同上.

7) 中村一郎，数川 悟，遠藤正臣，三輪淳夫，北川正信，稲生暁春：Creutzfeldt-Jakob 病(panencephalopathy 型)の1剖検例。第12回臨床神経病理懇話会，1984. 12, 岡山.

◆ その他

1) 三輪淳夫，北川正信：神経原性と考えられる胸壁悪性腫瘍。病院病理 2：115—115, 1983.

2) 吉田正美，鍛冶友昭，黒田 淳，吉崎 亨，中村武夫，辻 政彦，三輪淳夫，北川正信：皮膚転移癌—症例報告と10年間の統計—。富山中医誌 7 (1, 2)：25—32, 1983.

3) 田近栄司，中村武夫，北川正信：男子原発性尿道移行皮癌の1例。富山中医誌 7 (3, 4)：5—9, 1983.

病 理 学 (2)

教 授	小 泉 富美朝
助 教 授	若 木 邦 彦
助 手	櫛 渕 統 一
助 手	澤 田 輔 善
教 務 員	倉 茂 洋 一

◆ 著 書

1) 小泉富美朝：循環器。「病理学各論 I」赤崎兼義編，11—65，改訂第8版，1984.

2) 小泉富美朝：膠原病における血管炎—その組織型と病理形態—。「わかりやすい血管の話」臨床編，108—116，メディカルトリビューン，1984.

3) 小泉富美朝，深瀬真之：プレドニン投与実験における血管および筋肉病変。「血管炎の疾患モデル」京極方久，福田芳郎，安倍千之編，51—59，医歯薬出版，1983。(昭和58年度追加)

◆ 原 著

1) Wakaki K., Koizumi F. and Fukase M. : Vascular lesions in systemic lupus erythematosus (SLE) with pulmonary hypertension. Acta Pathol. Jpn. 34(3)：593—604, 1984.

2) 上山武史，富川正樹，笠島 学，横川雅康，小泉富美朝：バージャー病罹患肢の血行動態—無侵襲診断法による検討—。厚生省特定疾患・系統的血管病変に関する調査研究班 1983年度研究報告書 184—188, 1984.

3) 肥田高嶺，小泉富美朝，若木邦彦，神山和世：